

医療法人社団伊豆七海会 熱海所記念病院における勤務医師 負担軽減計画

2025年4月1日

勤務医の勤務状況等【2025年4月1日 現在】

○病院規模:144床

○医師数 : 常勤医師:16名 非常勤医師:50名

○月平均勤務時間:常勤:週 33.6時間(時間外勤務除く)

○時間外労働:常勤:平均 26.6時間／月

○平均当直回数:1.5回/月(特定の医師のみ)

勤務医負担軽減のための取組 及び 計画について

当院では、医師事務作業軽減のため、必要な基礎知識を研修にて修了した医師事務作業補助者を2008年4月より配置している。

院内の検討・推進体制では、勤務医負担軽減及び処遇改善の責任者に医局長を選任するとともに、医師の意見を集約し、

経営への取り込みを行うため、医局会を毎月1回開催し、年3回 医師の業務負担軽減に対する取組・検討できる体制を整備している。

施策としては、医師の身体的負担軽減としての当直明け、当直の2交代制に伴う非常勤医師の入職推進、医師の業務負担軽減

としては看護師等の役割分担、医師事務作業補助者の増員、多職種によるタスクシフトを推進している。

負担軽減項目

負担軽減項目	現状	区分	2025年度の目標	取組項目
交替勤務制・複数主治医制の実施	医師の時間外理由に事務作業がある。	新設	医師事務作業補助者の増員1名。 医師事務作業補助者の業務内容の見直し。	医師事務作業補助者の求人活動。 医師事務作業補助者の業務内容における院内規定の見直し。
	クリニカルパス運用が低い 運用率 15%程度	既設	クリニカルパス運用率の向上 運用率20%以上	クリニカルパスの作成 作成したパスの周知 及び 運用の実施
先日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の休息時間の確保(勤務間インターバル)	休息時間の確保が取れなく、医師の身体に負担を掛けている。	既設	勤務間インターバル、代償休息の運用	2024年度 勤務間インターバル・代償休息の規程が完成。 規程内容を見直し、運用に支障がないか検討を実施する。 勤務間インターバル・代償休息の理解・周知の徹底。
予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮	手術前日に当直業務を行っていることがある為、安全を考慮し、勤務表の調整を行う。	既設	手術前日に当直業務を行わないように体制を整備する。 当直業務専従の非常勤医師増員。	勤務表作成時に勤務調整の実施。 当直専門の非常勤医師の採用活動の実施。